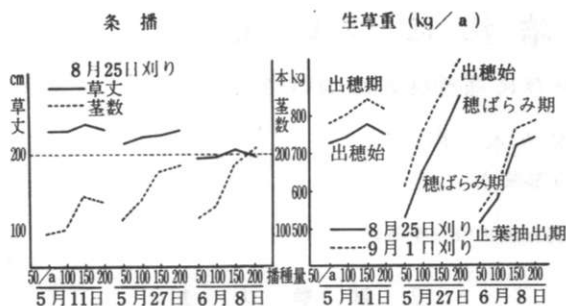
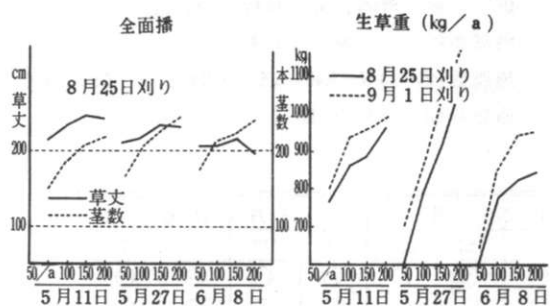


2 草丈、茎数の推移

草丈は各播種量区ともほぼ5月11日>5月27日>6月8日の順に高い。茎数は播種時期別では5月11日、<5月27日<6月8日の順に多く、播種量別でもほぼ50g<100g<150g<200gに推移した(第1, 2図)。



第1図 主要成果の具体的データ



第2図 主要成果の具体的データ

3 生草重について

条播栽培の5月11日播が8月25日、9月1日刈りとも播種量50g<100g<150g<200gの順であったが、他は各播種時期とも50g<100g<150g<200gと播種量が多いほど多収であった。播種時期別では5月27日播で8月25日刈取りの播種量200g、9月1日刈取りの播種量150~200gが多収を示した。また、5月11日播に比較して、6月8日播は刈取り時期を5~6日遅らせることにより、播種量150~200gで、5月11日播とほぼ同収が得られる。

4 播種様式について

条播栽培より全面播栽培が多収で、かつ省力的であるが、5月11日播は生育初期の雑草対策が問題点として残った。

4 ま と め

ヒエの青刈り用として有利な点は第1報で述べたが、ヒエの播種期幅は比較的長い、一般に早播ほど収量が多く、条播・全面播栽培とも播種量a当たり150~200gが収量的に安定している。

なお、供試した飛騨在来は出穂期ころまでは倒伏に強いので、全面播栽培は施肥量(窒素)と播種量増によって、さらに多収性と茎の細い嗜好性の高い良質な粗飼料が得られるものと思われる。

青刈りヒエの栽培法について

第3報 播種量と窒素施肥量

大野 康雄・佐々木 邦年

(岩手県農業試験場)

1 ま え が き

第2報に続いて、自給飼料強化のために、青刈りヒエの栽培法の残された問題点の一つとして、標題を検討した結果を報告する。

2 試 験 方 法

普通畑(岩手農試ほ場) 火山灰土壌
供試品種: 飛騨在来(長稈・晩熟性)
供試条件: 第1表のとおり

播種期: 5月11日

栽植様式: 60cm×24cm

3 試 験 結 果

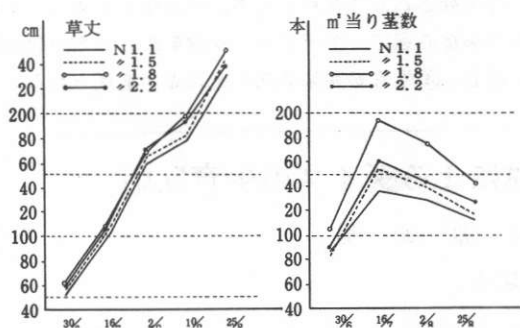
1 草丈・茎数の推移

播種量別では草丈・茎数とも標準a当たり50gに比べ、50g<100g<150gの順にまざった。

施肥量別は標準a当たりN成分量1.1kg(0.8+0.3)から1.8g(1.2+0.6)までは最終的に施肥量が多いほど草丈は高くなり、茎数も増加の傾向がある(第1

第1表 供試条件

窒素施肥量(kg/a)	播種量(g/a)			備 考
1.1 (0.8 + 0.3)	50	100	150	ア. P ₂ O ₅ : a 当たり過石 1.0 kg 熔燐 1.0 kg (基肥)
1.5 (1.2 + 0.3)	"	"	"	イ. K ₂ O : a 当たり塩化 2.0 kg (基肥)
1.8 (1.2 + 0.6)	"	"	"	ウ. 堆肥 : a 当たり 300 kg
2.2 (1.6 + 0.6)	"	"	"	エ. 追肥時期 : 6月30日



第1図 N量と草丈、茎数の推移

+0.6)に比較して出芽障害をうけて茎数は少なく、草丈は追肥後(6月30日)7月下旬～8月上旬はやや高いが、その後は草丈・茎数も劣った。

2 生草重と乾物重

播種量別では前記の関係から標準a 当たり50gに比べ、50g < 100g < 150gの順に多収であった。

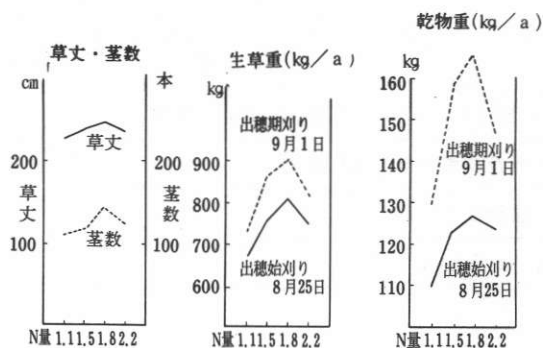
施肥量別も前記の関係から1.1kg(0.8+0.3), 1.5kg(1.2+0.3), 1.8kg(1.2+0.6)の順に多収を示した(第2表, 第2図)。

なお、いずれの供試条件でも出穂期まで倒伏はみられなかった。

図)。しかし、2.2kg(1.6+0.6)は1.8kg(1.2

第2表 試験成績概要

刈取り時期 播種量 N量	項目 播種量 (g/a)	穂 孕 み ～ 出 穂 始 8月25日								出 穂 期 9月1日							
		a 生 当草 り重 (kg)	播対 百分 量比 50g	N 対 百分 量比	乾 物 率 (%)	a 乾 当物 り重 (kg)	播対 百分 量比 50g	N 対 百分 量比	a 生 当草 り重 (kg)	播対 百分 量比 50g	N 対 百分 量比	乾 物 率 (%)	a 乾 当物 り重 (kg)	播対 百分 量比 50g	N 対 百分 量比		
N 1.1	50	631.3	100	100	15.7	99.1	100	100	684	100	100	17.0	116.5	100	100		
	100	684.4	108	100	16.2	110.9	112	100	742.9	108	100	17.6	130.7	112	100		
	150	730.2	116	100	16.4	119.8	121	100	792.3	116	100	17.8	141.0	121	100		
N 1.5	50	702.1	100	111	15.8	111.0	100	112	799.0	100	117	18.0	143.8	100	123		
	100	784.4	112	115	15.8	124.0	112	112	892.7	112	120	18.0	160.7	112	123		
	150	808.3	115	111	16.5	133.4	120	111	919.8	115	116	18.8	172.9	120	123		
N 1.8	50	727.1	100	115	15.4	112.0	100	113	855.1	100	125	18.1	154.8	100	133		
	100	833.1	115	122	15.4	128.3	115	116	931.0	109	125	18.1	168.5	109	129		
	150	890.6	122	122	15.7	139.8	125	117	950.6	111	120	18.5	175.9	114	125		
N 2.2	50	710.5	100	113	16.1	114.4	100	115	772.3	100	113	17.5	135.2	100	116		
	100	768.8	108	112	16.1	123.8	108	112	835.7	108	113	17.5	146.3	108	112		
	150	802.1	113	110	16.7	134.0	117	112	871.9	113	110	18.2	158.7	117	113		



N 量と草丈・茎数, 生草重, 乾物重の関係

第 2 図 出穂始刈り (8 月 25 日)

4 ま と め

以上の結果, 播種量は a 当たり 150 g, N 施肥量 a 当たり 1.8 kg (1.2 + 0.6) が最大収を示したことから, 適正な播種量は第 2 報で述べたように a 当たり 150 g ~ 200 g で, N 量は基肥で a 当たり成分量 1.0 kg ~ 1.2 kg, 追肥量で a 当たり成分量 0.3 kg ~ 0.6 kg の範囲が適当量と思われる。また N 量 a 当たり 2.2 kg (1.6 + 0.6) は出芽障害, 生育抑制の関係から a 当たり 1.8 kg 以内にとどめる必要がある。

今後残された問題点として, 多収化のために ①作期別品種の選定 ②サイレージ調製法 ③粗耕栽培法の確立 ④生育初期除草剤の検討等があげられる。

転換畑における地下水位の相違によるダイズの生育反応

柴 田 悖 次・遠 藤 武 男

(東北農業試験場)

1 ま え が き

一般に, 転換畑はダイズの生育にとって, 土壌水分が過多か, 過多になりやすい欠陥をもつといわれている。そこで, 比較的高地下水位条件においてダイズの生育, 収量がどのように変動するかを明らかにして, 転換畑ダイズの栽培技術上の基礎的知見を得るために, 昭和 46 ~ 48 年の 3 カ年間, 試験を実施した。

2 試 験 方 法

1. 土壌条件; 転換初年目 ~ 3 年目の胆江沖積土壌 (下層土は盛試下層土) を充てんした深さ 0.6 m, 面積 9 m² の有底柵圃場。

2. 地下水位; 5, 20, 35, 50 cm の 4 段階 (生

育全期間処理)。

3. 供試品種; ライデン, 奥羽 13 号

4. 栽培法

は種期; 5 月 27 日

施肥量 (kg/a); N = 0.06, P₂O₅ = 0.34, K₂O = 0.29, 堆肥 = 200, 石灰 = 10。施肥法; 全量基肥。栽植密度; 6.7 株/m², 1 本仕立。

5. 1 区面積; 9 m²

なお, 生育途中の抜取りによる調査, 分析には別に設けた同一地下水位処理 (盛試土壌) の材料を用いた。

3 試験結果および考察

各地下水位区の子実収量は第 1 表から明らかなように, 5 < 20 < 35 = 50 cm であった。これを地下水位

第 1 表 地下水位の相違とダイズの子実収量との関係

年次 品種	地下水位 (昭和) (cm)	子実収量 (kg/a)				50 cm 区対比 (%)			
		5	20	35	50	5	20	35	50
ラ	46	277	361	407	449	62	80	91	100
イ	47	234	366	449	411	57	89	109	100
デ	48	188	409	477	467	40	88	102	100
ン	平均	233	379	444	442	53	86	100	100
奥	46	281	311	356	388	72	80	92	100
羽	47	231	413	434	434	53	95	100	100
13	48	261	448	461	451	58	99	102	100
号	平均	258	391	417	424	61	92	98	100